

# 安全な自動運転トラック輸送をめざす、Ike 社のビジョンを現実する

2019年11月1日 Raffi Mardirosian



顧客と密接に協業することは、ライダー技術を使いやすく、手ごろな価格で提供し、信頼性を得ることを意味し、これは Ouster 社の理念の中核でもあります。密接な協業は開発を加速させ、そのことが、Ike 社が [Ouster を第一のライダーサプライヤに選んだ](#) 理由の 1 つです。Ouster 社は、自動運転のトラック輸送システムを市場に投入する支援を求められてきました。

自動運転によるトラック輸送という用途に関して、[OS1](#) は、開発の当初から路上での過酷な状況に耐えられるに設計されています。OS-1 は過酷な衝撃、振動およびびびしい環境仕様に対する耐久性を持ち、商業的な展開で必要とされる解像度、信頼性、高精度を備えています。

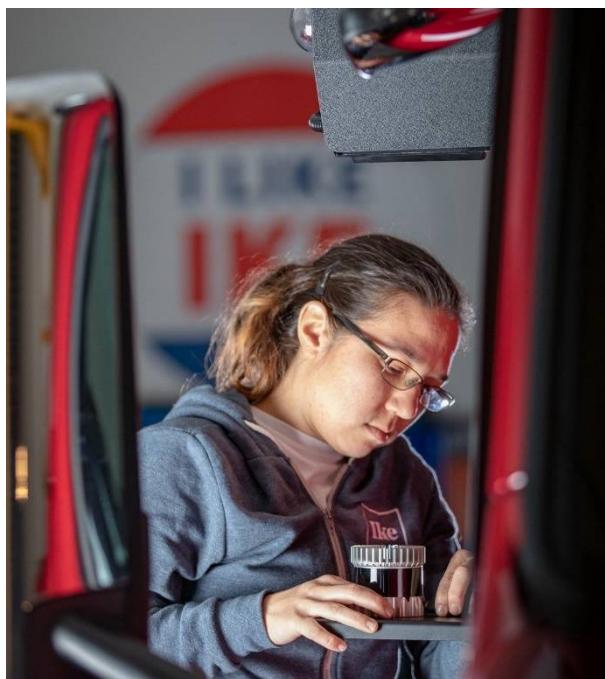
「Ike 社は、自社のオートメーションシステムに組み込むセンサーに対しては、厳格で過酷な要求仕様を求めていました」。Ike 社の共同創始者で、技師長の Nancy Sun はこう語ります。『我々のシステムエンジニアリングチームは、数ある選択肢の中から、OS1 を評価し、我々の要求仕様に適合する、あるいは、それらを超えるとものと結論付けました。これが、今日、我々が開発中のプロトタイプのものが、OS1 を搭載している理由で

す。そして、今後数年、自律走行の車両の分野で商業的にも生き残るであろう Ouster 社と協業できることを楽しみにしています」

Ouster 社と Ike 社とのパートナーシップは特に強く、その理由は、実用指向の製品開発に焦点を当てることによる安全の商品化、インパクトのあるテクノロジーに対するコメントメントを共有できるからです。

「ライダーのような先進技術の商品化は、サプライヤと顧客同士の透明性なくしては、あり得ません」Ouster 社の共同創始者で CEO の Angus Pacala は語ります。

「我々は、Ike 社のチーム、かれらの評価中の熱心さ、そして、彼らが弊社製品を彼らのプラットフォームに組み込むことを決めた際の、有益なフィードバックに感銘を受け続けてきました。我々は、商用トラック輸送市場において Ouster 製品が使用されていくことを期待しております」



我々は特に、最近公表された [Ike 社の自主的な安全性自己評価](#) が、自動トラック輸送技術の開発にとって、ハイレベルの詳細な内容であり、且つ透明性をもたらす重要なステップとして高く評価します。そこには、高性能なセンサーラーキテクチャがそのコアとして位置づけられており、OS1 は、位置推定システムでは死角スポットを検知するセンサーとして使用される予定です。

Ouster [OS1](#) を搭載した Ike 社のトラックが、路上あるいは専用のテストフィールドでデータを収集していますので探してみてください。Ouster 社は、自動走行トラック輸送を実現させるという Ike 社の旅の間、彼らのチームとずっと行動を共にできることを楽しみにしています。

